

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [自己啓発](#) | [ロバート・オウエンの思想](#)
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[社会保障](#)[労使トラブル法律相談Q&A](#)[労働関係法](#)[経営全般](#)[人間関係とコミュニケーション](#)[ライフプラン](#)[男女共同参画](#)[公務員関係法](#)[日朝の歴史](#)[7つの習慣](#)[中東の歴史](#)[ボランティア活動](#)[環境活動](#)[社会貢献活動](#)[自己啓発](#)[生涯学習](#)[外交・防衛問題](#)[資本論](#)[教育カリキュラム](#)[日本国憲法](#)

ロバート・オウエンの思想⑦

オウエンは、人々の窮乏の原因が「競争」にあることを見抜く。

そして競争社会は人間の本性に反しており、それに代えて「助け合い」＝「協同」を社会の根本原理に据えなければならぬと説いた。

競争社会の害悪に染まった労働者は、あたかも生まれつき性悪で劣悪な人間であるかのように自らを卑下し墮落する。

それを金持ちは軽蔑し、労働者を自分たちとは無縁の存在であるかのように扱うのである。

これでは労働者は貧しい状況から抜け出せず、社会は分裂するままとってしまう。

そのためにオウエンは労働者のみならずその子どもたちへの教育にも力を注いだ。

また「いい環境からはいい人間が育つ。悪い環境からは悪い人間しか生まれない」という「性格形成論」にもとづいたユニークな経営を実践していく。

オウエンの構想に賛同し、オウエン主義のコミュニティ建設運動に参画した人々が直面したのは、コミュニティをつくるための巨額な資金調達だった。

オウエン派の構想では、およそ200家族から300家族が暮らす協同の村をつくるということだったが、そのための土地を取得するにも、協同で暮らす住宅や食堂、そして協同労働の場である工場をつくるにあたっても相当な資金が必要である。

オウエン自身は成功した経営者として相当の資金を持っていたが、いつまでも頼るわけにはいかなかった。

オウエン自身は楽観的で、多くの有力者が構想に共鳴して、喜んで寄付をしてくれると信じていた。

しかし現実には厳しく、オウエン派の人々は、自分たちの力で問題を解決する道を選択する。

そして、まずはコミュニティづくりの第一歩として、みんなが利用する協同の店をつくり、そこで生活に必要な品々を売って、資金を少しずつ貯めていこうという戦略をたてて進んだ。

一時はイギリス全土に200を超える協同店舗が開店したが、何年かするうちにほとんどの店舗が閉鎖してしまう。

初期の協同組合運動は失敗に終わる。

(つづく)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

📄 サイトマップ 🔍 このサイトについて 🛡️ 個人情報保護の取組みについて

🏠 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.